

6月の果実の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
すいか類		8,778	100	9,837	183	103	183	-	-	大玉すいかは千葉産を中心に熊本、鳥取産の入荷となる。千葉産は定植遅れ等もあり、出荷開始は例年より遅く、ハウス栽培のピークは6月上旬からとなる。トンネル栽培との切り替えとなる中旬には、入荷の谷間ができる可能性もある。鳥取産の入荷スタートは例年並の中旬からとなるが、出始めの入荷量は少ない見込み。熊本産は6月下旬で終了の見込み。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をやや上回る見込み。
メロン(アンデス)		1,123	100	1,414	351	106	346	4	0.4	茨城産中心の入荷で、全体の約7割を占める。茨城産は低温と天候不良の影響で生育が大幅に遅れ、5月の入荷量は少なく推移したが、6月に入ると果実肥大も良好となり、上旬には入荷量がピークとなる。山形産は6月下旬から入荷の見込み。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をやや上回る見込み。
おうとう		960	100	1,105	1,633	105	1,733	863	89.9	山形産が全体の約7割、米国产が約2割を占める。ハウスおうとうは6月上旬でほぼ終了の見込み。生育遅れのため、露地ものの早生品種は6月10日頃から、佐藤錦の入荷は第3週からでピークは下旬からとなる見込み。着果、作柄ともに良好で、全体の入荷量は前年並みとなる見込み。「佐藤錦」がピークとなる下旬からは販路も広がり、活発な取引が期待されるため、価格は前年をやや上回る見込み。
ぶどう(デラウエア)		454	95	574	1,105	103	1,001	4	0.8	島根、大阪、山梨中心の入荷となる。主力の島根産は前年よりスタートが遅れて5月上旬からの入荷となった。生育遅れのため6月に入荷がずれ込み、6月15日過ぎからピークとなる。大阪産は下旬から7月頭にかけてピークとなる。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。
マンゴー		107	140	146	2,865	97	2,498	-	-	宮崎産中心の入荷で全体の8割を占める。宮崎産は、昨年秋の気温高で花芽分化が遅れたために、生育が例年より1ヶ月程度遅れ、入荷のピークが6~7月となる。例年は上旬で終了する鹿児島産も出回る一方で、沖縄産は6月中の入荷量がなく、7月上旬からのスタートとなる。宮崎産の入荷量が前年の4割増となることから、全体の入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年をやや下回る見込み。